

No.	10-2-3	場所	駒ヶ根市大洞	次世代への継承キーワード
名称	土石流に飲み込まれた大洞の集落			避難路確保 / 地域コミュニティ
災害現象	土石流	河川	新宮川	
補足事項		支流		

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

上流でがけ崩れが約390ヶ所で発生し、土砂が新宮川に一気に流れ込んだ。竜東（伊那山地）では駒ヶ根市中沢新宮川、百々目木川流域一帯で、死者・行方不明5名、被災人員558名に及び人的被害と家屋や発電所の倒壊、橋の流失等の建物にも被害が生じた。

百々目木、大洞地区などでは、土石流によって60戸以上が流出全壊、農地のほとんどが失われた。

●体験談：濁流の子 作文筆者（災害当時 駒ヶ根市中沢小学校東分校1年生）

夕方からどんどん家の中に水がついて入ってきて、家の中は危ないということで、祖父母と私を含めて兄弟三人が土蔵に逃げ込み両親は外に見回りに行きました。そして一瞬の山津波で母、祖父母、兄が亡くなりました。そういう中で助かったのは、父と弟と私と三人だったんです。ところがそこから**高い所に逃げるにはゴウゴウと音をたてている濁流を越えなくては、山側に行けない。**そこでまず父は弟を向う岸に渡して、再び濁流を往復して私を迎えに来てくれたんですけど、その間まだ三歳の弟が父の後を追って奔流に入ってしまったようで行方が分からなくなってしまいました。一略一家も家財道具もほとんど使えませんでしたし、わずかばかりの田畑もすべて流され、その上に家族も亡くなって、父は本当に途方に暮れたのではないかと思います。そうしたなか**親戚を始めご近所の方、救援物資を送ってくださった方などたくさんの方に支えられてきました。**一略一私のように自然のものすごい力が一瞬のうちに全てを押し流してしまうという現実を見せ付けられたものにとっては、人の力の有限さというものがとても強く感じます。

（「続・濁流の子」p12 座談会）

記 録



双山さん宅があった駒ヶ根市中沢、大洞の惨状。
狭い谷の間を流れる小さな新宮川に土石流が押し寄せ、川沿いの集落を飲み込んだ。

出典 「続・濁流の子」p.12、34

備考

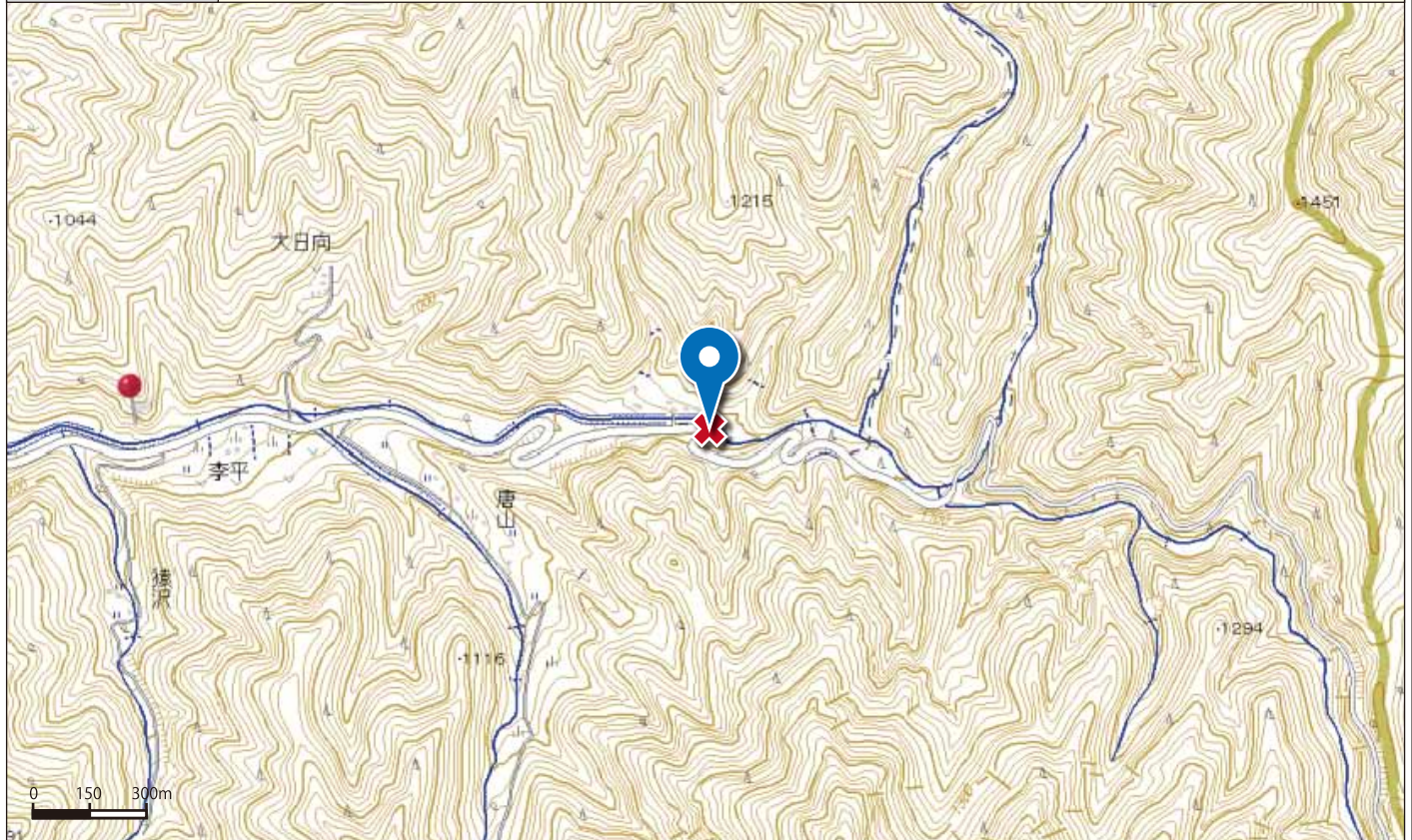
No.	10-2-3	場所	駒ヶ根市中沢大洞	緯度	35.720524
-----	--------	----	----------	----	-----------

名称	土石流に飲み込まれた大洞の集落	経度	138.045874
----	-----------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通用：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。